

平成 26 年度事業報告

自 平成 26 年 04 月 01 日
至 平成 27 年 03 月 31 日

経済環境と協会動向

平成 26 年の総広告費は、電通調べによれば、消費税引き上げ前の駆け込み需、やソチオリンピックなどで伸長した後、消費税引き上げの反動などがあったものの、FIFA ワールドカップ ブラジル大会などにより、緩やかに成長を続け、通年では 6 年ぶりに 6 兆円超となる 6 兆 1,522 億円の市場 模となった。

プロモーションメディア広告費は、2 兆 1,610 億円（前年、100.8%）と 3 年連続で前年を上回った。SNS やデジタルサイネージとの連動による「屋外広告」・「交通広告」、DM、紙とネットとのコラボによる「フリーペーパーマガジン」、「ディスプレイ広告」での展示・映像が増加の、因として挙げられる。一方で、「折り込み広告」、「電話帳」が、前年割れとなった。

同調べによれば、「POP 広告」は 1,965 億円（100.6%）と微増。業種別では、「不動産・住宅設備」「自動車・関連品」「金融・保険」などが堅調であった。また、好調に転じた DM、フリーペーパーマガジンなどについて、印刷需の縮小とウェブへの移 が、われているが、それぞれの利による使い分けや組合せ傾向があると分析している。

以上の通り、会員各位の絶大なご協力と、一松原 事会の、なりリーダーシップにより、協会動向を進めることができた。今期の成果として、以下を報告出来ることは、感謝に堪えない。

- ① 「プロモーション・マーケター認証資格制度（富田委員長／齊藤常任 事・安藤副 事長）」は、10 期までの累 受験数が 8,056 人となり、有資格者数は 4,841 人に至った。非会員社の受験遣 も 69.8% と依として高く、業全体へと資格制度が透していることが明らかとなった。
- ② SP 業全体のビジネス・スキルの向上を設された、東京都公認の職業能力開校「JPM ビジネススクール」を始めとする「教育事業（堀井委員長／草賀常任 事・安藤副 事長）」は、当期、受 促進動を極、且つ体系に展開し、参加延べ数 154 人（S 標 180 人）の成果を得た。また、この事業推進に関連し、並川元常任 事、吉村常任 事、堀内 事の 3 名が東京都業労働局長より功労者として 彰されたことは、JPM 動の社会的な評価を得ている証と える。
- ③ 「グッドウイール・プロモーション・アライアンス推進委員会（田中委員長／ 田常任 事・新井副 事長）」は、今後のプロモーションのあり方を、めて準備委員会が組織され、平成 23 年 9 月の 事会（112 回）で設置が承認された。今期から GPA アワードが新設され、初年度に関らず企部門 19、POP 広告・ツール部門 14 の、33 の応募を集めた。また、GPA によるプロモーションの新たな取り組みを推進するため、「GPA 主査制度」の本格的な推進に向け「主査認証式」を、GPA 主査設置企業は、59 社 61 名を数えた。なお、2014 年協会展では「GPA アワード」を展開し、審査員 別賞を獲得するなど、GPA 動に対する業の大きな期待感を感じた。
- ④ 協会 誌「JPM network（山口委員長／吉村常任 事・安藤副 事長）」を、月、また「JPM マネジメント定例会（栗原委員長／ 清常任 事・高副 事長）」を 4 回にわたって実施し、会員間の交 会を広げた。
- ⑤ 「協会展（久保田委員長／吉村常任 事・新井副 事長）」は主に、本市の出展 S 標未達など、依、収での課題は抱えつつも、当期は作品出展で 651（前年 733、S 標 750）、来場者数が 5,098 人（昨年 5,630 人）で、昨年に及ばなかったものの、購買時 での問題、力に優れた多くの創造性と企力を顕彰することが出来た。
- ⑥ プロモーション・ビジネス研 委員会（北川委員長／ 田常任 事・新井副 事長）が実施の 12 回 JPM プランニング・ソリューション・アワードでは、62 の応募（前年 69）を集め、その中からプロモーション企コンテスト GLOBE Awards に 9 の応募。4 部門で入賞を果たした。同じく、国際企コンテストである「International Marketing Excellence Award 2014」へ 2 を選出し、1 が最高賞の金賞を獲得、日本のプロモーションにおける企力を世にアピールした。

以上、平成 26 年度（一松原 事会）は、「プロモーション・マーケティング」の透の具体化として、プロモーション・ツールや企の効果を高める人材を育成し、さらにプロセス・マネジメントへの取り組み制度を開始することで、「攻めの扉が開かれる」というスローガンのもと、新たな一步を踏み出すことができた。今年もまた、新たな希望と期待のうちに新年度を迎えられる幸せは、ご同慶の至りである。

平成 26 年度の各委員会の動向は、の通り実施された

総務委員会（委員長 齋藤 潤一＊／齋藤潤一常任 事＊、高副 事長）

1) 通常総会の開催

45回通常総会 平成26年6月17日（㊿）15：30～19：00
 出席者 会員代 者 155名（委任 出席者 89名含む）（前年149名）
 会 場 東京會館 「ロイヤルルーム」
 記念 演 野田 稔 J（明 大学専門職大学院 グローバルビジネス研 科教授）
 （テーマ） 「 三世代企業の責任と役割」

2) 財務管

会 査 の 査 の 実施
 平成26年度の会 査 を平成27年5月13日（㊿）に実施
 の 査 は、 山 の 事、 堀内 の 事、 高田税 土。

3) 会員名簿の

会員名簿を平成26年6月に し、会員社に配布した。

	会員の入退会（平成26年12月末 在）			
	26年度期首	入会	退会	26年12月末 在数
会員A	189	4	5	188
会員B	9			9
外会員	13	1	2	12
賛助会員	2			2
合	213	5	7	211

4) JPM新年会

昨年に引き続きJPM新年会を開催。
 日時 平成26年1月19日（月） 18:30～20:00
 場所 日本印刷会館 2F会 室
 参加者 49社 135名 会友3名 他に招待16名（プレス含む）
 ※平成26年（1～12月）の新入会員6社のうち1社が参加した。
 ＊委員長が6月より、宮 健 から齋藤潤一Jに交代した。

国際委員会（委員長 澤田 利憲／草賀常任 事・安藤副 事長）

1) JPM GLOBALSHOP 2013 察ツアー

米国ラスベガスで開催の「GLOBALSHOP 2015（3月21日～3月27日）」の 学およびサンフランシスコでの
 店舗 察ツアー。
 6社から14名が参加。

会員増強・会員交委員会（委員長 栗原 敦 ／和田 事、 常任 事、高副委員長）

1) 「会員増強活動」について

事務局主体による入会促進活動

業界データから選定した新規候補リスト(210社+印刷会社系55社)に基づき、下記の通り、講座見学、協会見学、贈賞式見学等への招待やJPM協会の活動実態の紹介を通して、親近感づくりを行った。

○送付日:

6月2日・7月25日(各55社)

6月2日～代表者に、JPMの教育プログラムとともに「プロモーション・マーケティング入門講座」見学・受講への誘い

<結果>「プロモーション・マーケティング入門講座」受講・見学、資料請求なし

7月25日～教育担当者に教育プログラムとともに、「PM早わかり講座」受講の案内

(ともに、他講座の資料・実態調査送付案内、協会パンフレット、入会メリット、Network2014年1月号/7月号を同封)

<結果>「PM早わかり講座」受講、資料請求なし。

9月19日(210社)

・代表者に、JPM協会見学の誘い(入場引換券付き)

<結果>7社より見学(入場)希望あり、見学。

11月6日(210社から絞り込み173社)

・代表者に、贈賞式見学の誘い(見学券付き)

<結果>5社より見学希望あり、出席。

結果:協会展、贈賞式見学者より、1社(浅野製版所)、12月に入会。

入会申込企業	紹介会社	備考
(株) 丹青ディスプレイ *	(株)マルエムPOP、(株)新和製作所	2014年3月入会
和優(上海)広告有限公司	ワヨー(株)	2014年4月入会
新村印刷(株)	アート印刷(株)	2014年5月入会
(株) エバーグローリー	ワヨー(株)	2014年12月入会
(株) 第一広房	(株)テー・オー・ダブリュー	2014年12月入会
(株) 浅野製版所	(株)電通テック	2014年12月入会

*昨年度の入会につき、前頁の入会欄には反映されていない。

2) JPMゴルフ大会(通算71回)の開催

開催日 平成26年6月19日(木)

場所 武蔵カントリークラブ・豊岡コース

参加者 16社から計20名が参加。

3) JPMマネジメント定例会

会員各社と理事会(理事・監事)との交流、および会員各社間同士の情報交換との交流。会員社であることのメリットのひとつである他社会員社との情報交換による協力関係づくりを目的に開催。定例会(4回開催)延べ参加者178人(目標:200人)。定例会の開催状況は、以下の通り。

第14回開催	4月18日(金)	参加者 30名/13社
講師	玉置元博氏ほか 4名	凸版印刷トッパンアイデアセンター
テーマ		「JPM GLOBALSHOP2014視察報告」
講師	木全時彦氏	デザインニング・ボード

別スピーチ 「クリエイティブ人生50年の総括～クリエイティブの神髄」

場所 日本印刷会館 2F会。室

15回開催	7月22日(日)	参加者 43名/21社
講師	田原 績	田原屋
テーマ	「トラディショナル旗屋 奮戦記」	
場所	日本印刷会館 2F会。室	
16回開催	9月29日(月)	参加者 42名/17社
講師	中 敦	パルディア
テーマ	「店頭キャンペーンの課題 と 世代販促のキーワードを提示」	
場所	日本印刷会館 2F会。室	
17回開催	11月29日(木)	参加者 29名/17社
講師	田中 茂	モメンタムジャパン
テーマ	も えてきた。業務プロセス・マネジメントの、あるべき姿。 GR アワード入賞企⑥・作品の 周到なプロセス に学ぶ	
場所	日本印刷会館 2F会。室	

4) JPM新年会

詳細は総務委員会の動報告に記載。

調査研 委員会 (委員長 野 一俊 / 齊藤 一常任 事・安藤 副 事長)

1) 37回「プロモーション業⑥実態調査報告書」の

① 37回「プロモーション業⑥実態調査」

プロモーション・マーケティング動(広告含む)に関わる2013年度のプロモーション・マーケティング業⑥の売上高を推定し、同時に受。業種別、商品業種別の動、傾向を探る調査結果を報告。7月全会員に配布。

・調査 日本のプロモーション業⑥および 広告業⑥の平成24年度の売り上げ、模を推定し、同時にプロモーション業⑥における広告・B 業務の売り上げ、および実態を探る。

・調査方 郵送およびインターネットによる回

・調査対 当協会、会員A社

・実施時期 平成26年4月7日～5月12日

・調査票配布 189社 ・調査票回収数 70社 (回収率 37.4%)

平成25年度の 広告市場 模 2,349億円(前年、103.1%)

② 16回「広告主実態調査(プロモーション動の ⑥と管 に関する調査)」

・調査 広告主側からみるプロモーション動の ⑥と管 に関する実態および期待を探る。

・調査方 郵送およびインターネットによる回

・調査対 当協会、会員B社、日本アドバタイザーズ協会会員社、2013JPM協会展来場者

・実施時期 平成26年4月7日～5月12日

・調査票配布 813社 ・調査票回収数 35社 (回収率 4.3%)

②の結果、プロモーション業務に関する満足度に関して、業⑥側の自己認と広告主の認に大きな格差が認められ、プロモーション業⑥として広告主に提供するプロモーションの品質を高める取り組みの必、性が明らかとなった。

教育委員会（委員長 堀井 誠一郎／草賀常任理事・安藤副理事長）

当委員会は、プロモーション業の「共通語」としてのプロモーション・マーケティングを啓蒙・普及すると同時に、協会運営上の収源の役割を担っている。そのため、受入促進動を極に展開し、以下の結果となった。

	参加者数	参加企業数	目標
35期「買い場」展開がよくなる基座	55	25	60
11期プロモーション・マーケティング入門座	51	19	60
26期インスタ・マーケティング・スペシャリスト養成座	19	9	30
14期プロモーション・クリエイティブディレクター（ED）養成座	29	12	30

個々の座についての詳細内容は、以下の通り。

- 1) 35期「買い場」展開がよくなる基座の開座（認定職業訓練IPMビジネススクール）
 「買い場」ツールの企画から素材別徴、- 作工程まで、すべての職種で必要な基座を網羅に学べる入門座。
 平成26年5月13日（）開座。全5日間。

カリキュラム

日程	意義内容	講師
	開座式	
5月13日 （）	プロモーション・マーケティング体系の中での「買い場」展開 プロモーション・マーケティング体系における「買い場」展開の効果測定 「買い場」ツール（POP）企画の基本 POP企画の基本とトレンド 「買い場」の論と実際 業態別「買い場」展開実施	坂井田 之 専務理事 坂井田 之 専務理事 久保田 秀明 凸印印刷(株) 吉村 寛子 (株)ヒロモリ
5月20日 （）	「買い場」ツールの企画制作／ プロモーション・メディア&ツールと制作の基本 「買い場」ツールの企画制作／効果的な企画制作 「買い場」ツールの基座／のポイント 「買い場」ツールの基座／販売什器(印刷・紙・インキ) 「買い場」ツールの基座／販売什器(ダンボール加工)	吉村 寛子 (株)ヒロモリ 鬼頭 一太 (株)電通 リテールマーケティング 田中 栄一 (株)DNPエスピーテック 伊藤 賢一 凸印印刷(株) 南部 幸司 レンゴウ(株)
5月27日 （）	「買い場」の論と実際 「買い場」展開の考え方とISM 「買い場」ツールの企画制作／プロダクトマネジメント 「買い場」ツールの基座／インフレタブル 「買い場」ツールの基座／ウレタン成形加工 「買い場」ツールの基座／プラスチック成形加工	松本 健児 (株)スピン 堀越 守 (株)電通テック 澤 典昭 (株)凡美社 亀井 則宏 ヘルメス(株) 大木 久 ギンポー化成(株)

6月3日 (○)	「買い場」ツール・ケーススタディ 「買い場」ツールの基 ₃ / モバイル 「買い場」ツールの基 ₃ / プラスチック板加工 「買い場」ツールの基 ₃ / グラフィック用 着シート 「買い場」ツールの基 ₃ / 布 「買い場」ツールの基 ₃ / メカニカル	木全 時彦 (株)テサイニク・ホート 林 6m人 (株)レッグス 村井 潤 デジタル事業会社勤務 小野悠太郎 (株)電通テック 多田 光宏 (株)丸ノ内工芸 白木 保一郎 DICフィルテック(株) 田原 績 (株)田原屋 伊藤 恒夫 国際ディスプレイ工業(株)
6月10日 (○)	「買い場」の論と実際 「買い場」展開ツールの企 ₆ 「買い場」展開ツールの基 ₃ / デジタルサイネージ (サイネージ) 度テスト 修了式	向坂 文宏 (株)電通テック 落合 功 凸印刷(株)
受 ₁ 生	23社 55名(性 29名、女性 26名)	
修了生	49名(1期からの累、修了者2,014名)	
会 場	日本印刷会館 2F会室	

- 2) 11期プロモーション・マーケティング入門₁ 座の開₁ (認定職業₇ 練IPMビジネススクール)
プロモーション・マーケティングの企₆技₇ を初歩から学ぶ₁ 座。情報収集技₇ から戦略設₇ や戦₁、₆の₁ 案、
プレゼンテーションまでを₉ 期間で具体₇かつ体系₇に学ぶ。平成26年7月1日(○)開₁。全3日間。

カリキュラム

日 程	テーマ	内 容
7月1日 (○)	プロモーション・マーケティングの企 ₆ 手 ₇ と 案 ₇ ツールを学ぶ	1. プロモーション・マーケティング動とは・・・? 2. プロモーションの手 ₇ と効き ₇ の ₇ ① 3. プロモーションの手 ₇ と効き ₇ の ₇ ② 4. プロモーション・マーケティング ₇ ₆ の ₇ れ 5. プロモーション・マーケティングで用いる ₇ 案 ₇ ツール 6. 「プロモーション ₇ ₆ 」を評価しよう①グループ演習 7. 「プロモーション ₇ ₆ 」を評価しよう②グループ演習
7月8日 (○)	ケースメソッドで実践 ₇ に企 ₆ 技 ₇ を学ぶ	8. 市場情報の集め方と整 ₇ の仕方 9. 市場情報の分析技 ₇ ① 10. 市場情報の分析技 ₇ ② 11. プロモーション・マーケティングの戦略設 ₇ を ₇ う①グループ演習 12. プロモーション・マーケティングの戦略設 ₇ を ₇ う②グループ演習 13. プロモーション・マーケティングの実 ₇ ₆ を作る①グループ演習 14. プロモーション・マーケティングの実 ₇ ₆ を作る②グループ演習
7月15日	「実務」から ₇ たプロモーション	15. プレゼンテーションと ₇ 評

(3)	ル・マーケティング	16. プロモーション効果とは？効果の測定は？① 17. プロモーション効果とは？効果の測定は？② 18. 会社への期待 19. プロモーション営業とは① 20. プロモーション営業とは②
-----	-----------	--

講師 坂井田 之 (一社)日本プロモーション・マーケティング協会 専務 事
 宮地 雅典 カゴメ(株) 中国支店 支店長
 山本 眞 (株)電通テック プランニング・プロデュース事業部 吉田部グループ・マネージャー
 八田 祥孝 (株)博報堂プロダクツ 取締役常務執行役員 プロモーション・プロデュース事業本部長
 受生 18社 51名(男性 31名、女性 20名)
 修了生 47名(1期からの累計 修了者 535名)
 会場 日本印刷会館 2F会議室

- 3) 26期インスタ・マーケティング・スペシャリスト養成講座の開講(認定職業訓練JPMビジネススクール)
 売り場展開にWebや携帯とのクロスメディアを採り入れた、ダイナミックな「新しいインスタ・マーケティング」のスペシャリスト育成コース。
 合、6日間(内3日間は、八王子セミナーハウスでの2、3日合宿)の集中講義+演習、そして自己学習を含む4ヶ月間のコース。
 平成26年9月10日(日)開講。

カリキュラム

日程	講師	内容	講師
9月10日 (日) 一課程 (集合研修)	坂井田 之 専務 事	ISMとは？ +ISMのあれこれ 店内プロモーション手帳とメディア&ツール ネット系ツール用の基本 「売り場」の考え方を考える プロモーション戦略の基本方針決定 売り場再構築シナリオの検討 プレゼンテーションと講師評価 インスタプロモーション戦略ワークシートの作成 同プレゼンテーションと講師評価	坂井田 之 専務 事
9月11日 (木) 一課程 (集合研修)	田中 敏明 (株)エムティ・ソリューションズ 顧問 松本 健児 (株)スピン 専務取締役 伊藤 一 (株)DNPメディアクリエイティブ 1クロスメディア企画本部長 里 淳 プランニング・オフィス「ウリカタ」 代表 村田 一朗 印刷(株) トピアアイデアセンター 部長	米国のISM事例①② 事例から考えるISM①② インターネットと店頭プロモーション① インターネットと店頭プロモーション② インターネットと店頭プロモーション③	田中 敏明 (株)エムティ・ソリューションズ 顧問 松本 健児 (株)スピン 専務取締役 伊藤 一 (株)DNPメディアクリエイティブ 1クロスメディア企画本部長 里 淳 プランニング・オフィス「ウリカタ」 代表 村田 一朗 印刷(株) トピアアイデアセンター 部長
二課程 (ホームワーク)		①ブランドの価値づけ30案 ②テーマ展開から、店内展開まで ③ネット展開実施 ④売り場づくり・店内展開シナリオ開 オリエンテーション	個人作業

平成27年 1月14日 (日) 三課程 (二、三日の 合宿研修)	演習	ホームワークレビュー	
	演習	ネット展開の考え方と進め方	坂井田 之 専務 事
	演習	各自作成のネット展開施 の 評と改善のポイント	
	演習	売り場作り・店内 平展開提案の考え方と進め方	
	演習	売り場作り提案作成	
演習	店内 平展開提案作成		
	プレゼン	売り場作り・店内 平展開提案のプレゼンテーション	
1月15日 (木) 三課程 (集合研修)	演習	売り場作り・店内 平展開提案の各チーム採 結果 の と 師 評	坂井田 之 専務 事
	演習	チーム基本案の作成①②	
	プレゼン	チーム基本案のプレゼンテーション	
	演習	基本案のチーム採 結果 の と 師 評	
	演習	チーム基本案の再設定	
	演習	プロモーション施 の 案	
	演習	売り場作り・店内 平展開提案の作成	
	プレゼン	売り場作り・店内 平展開アイデアの と 師 評 と チーム案設定	
	演習	プレゼンテーション準備①②	
1月16日 (金)	プレゼン	プレゼンテーション①②	
	演習	度テスト	
	演習	プレゼンテーション 評と改善課題	
	演習	改善に向けての作業 定	
	演習	作業 定の と 師 指示	
2月2日 (月) 四課程	プレゼン	卒業プレゼンテーション①②+ 評	上原 征彦 教授 日本プロモーション・マーケティング学会会長 明 大学専 門職大学院
演習	通再編成とオムニチャネル化 (修了式)		
受 生	9社	19名(性 9名、女性 10名)	
修了生	18名(1期からの累 修了者 545名)		
会 場	日本印刷会館2F会 室		

- 4) 14期プロモーション・クリエイティブディレクター(ED)養成 座(認定職業 練JPMビジネススクール)
プロモーション領域におけるクリエイティブディレクターを養成する我が国唯一の 座。ケース演習により実践、かつ、
体系に「プロモーション」のディレクション技 を学ぶ。
平成27年2月17日()開。全4日間。

カリキュラム

課 程	テーマ	内 容
2月17日 ()	プロモーション・クリエイティブの基	「クリエイティブ・コンセプト」とは EDに必要 キー・アイデア生 の技 「プロモーション・マーケティング」と「プロモーション・クリエイティブ」 「プロモーション」の進め方 「テーマ」の開 技 「テーマ開」実技演習
	プロモーション・クリエイティブの	「テーマ」の 評

戦略とケース・スタディ

2月24日 (○)	グループ演習①(テーマの設定とキーワードの開)	グループ演習②(キービジュアル案の開)	グループ演習③(店内プロモーション施の開)	グループ演習④(ポールの選定と内容設定)	グループ演習⑤(「プロモーション・クリエイティブ提案書」の作成)	中間プレゼンテーション①	
3月3日 (○)	プロモーション・クリエイティブの ケース・スタディ	グループ演習⑥(テーマの修・仕上げ)	グループ演習⑦(キーワードの修・仕上げ)	グループ演習⑧(キービジュアル案の修・仕上げ)	グループ演習⑨(店内プロモーション施の修・仕上げ)	グループ演習⑩(「プロモーション・クリエイティブ提案書」の修・仕上げ)	中間プレゼンテーション② 評に基づく修
3月11日 (○)	プロモーション・クリエイティブの プレゼンテーション	プレゼンテーションの最終調整	「プロモーション・クリエイティブの効果測定」	プロモーション・クリエイティブの「客観評価」の 手	プレゼンテーション	プレゼンテーション評	
講師	黒須 (株)ペンと鋏 クリエイティブディレクター	駒込 雅史 (株)電通プロモーション事業局 局長	坂井田 之 (一社)日本プロモーション・マーケティング協会 専務 事	保田 耕一 (株)読売広告社 総合プロモーション局 ルーム長	吉村 寛子 (株)ヒロモリ 取締役 クリエイティブディレクター		
受生	12社	29名					
前年修了生	36名(1期から13期の累)	修了者299名					
会場	日本印刷会館	2F会室					

- 5) JAGA (社団法人 日本印刷技術協会)主催の通信教育、「プロモーション・マーケティング基本講座」へ協会として協力。

セミナー委員会 (委員長 丹羽 由紀夫/吉村常任 事・安藤副 事)

JPMセミナー2014の開催

POP 広告制作に関し、制作場での「モノづくり」に力を当て、施設力を養うための「POP 広告のスケッチ作成から試作にいたる構造化力養成セミナー」を実施した。約 100 名の参加があり、会員社の制作関連ニーズの高さが改めて認められた。

日時 平成25年11月18日(月)15:00~17:10

会場 日本印刷会館2F会室

会費	会員1名 8,400円	一般1名12,600円
受 _レ 者	申込者数 92名	
	出席者数 97名(参加 _レ 標:50名)取材1名	
テーマ	「POP広告- 作のチェックポイント～紙器を中心に」	
	千田 建一 J	(株) 協進印刷 制作室長

JPMショー委員会 (委員長 久保田 秀明 / 田 常任 事・新井副 事長)

2014年度は、新たにGR アワードを加え、「買うを創る。ソリューションの総合展」として打ち出し、6つのゾーンで展開した。結果は、JPMクリエイティブ・ソリューション・アワードの出品数は651⁹ (前年733⁹、_レ標780⁹)、_レ本市参加小間数10社から13小間と昨年(前年11社、15小間)を下回る結果となった。来場者数は5,098名(前年5,630人)と昨年に_レ減_レ少した。

- 1) 44回「日本プロモーション・マーケティング協会展」の開催
 JPMクリエイティブ・ソリューション・アワード(作品展)、JPMプランニング・ソリューション・アワード、GR アワード、16回「買い場展開ツール」デザインコンペティション、_レ本市、プロモーション・マーケティング・セミナーの6構成で実施。

開催日	平成26年10月8日(日)～10日(金)
会場	東京都 _レ 業貿易センター(松 _レ 館)3・4階
入場料	一般 3,080円 会員には1社につきの通り会員券を配布した。 _レ 会員A:30枚、 _レ 会員B・C及び _レ 外会員:15枚、賛助会員:10枚 クリエイティブ・ソリューション・アワード出品会社:1作品につき10枚 _レ 本市出展会社:1小間50枚
入場者数	5,098名
後援	経済 _レ 業 _レ
協賛	公 _レ 社 _レ 人日本アドバタイザーズ協会 一般社 _レ 人日本印刷 _レ 業連合会 一般社 _レ 人日本広告業協会 公 _レ 社 _レ 人日本サインデザイン協会 一般社 _レ 人新日本スーパーマーケット協会 一般社 _レ 人日本ディスプレイ業団体連合会 一般社 _レ 人日本 _レ 間デザイン協会 公 _レ 社 _レ 人日本パッケージデザイン協会 公 _レ 社 _レ 人日本マーケティング協会 日本チェーンストア協会 _レ 定非営利 _レ 人 エムシーイーアイ 日本プロモーション・マーケティング学会

- ① 経済_レ業大臣賞 1⁹
 ① 審査員_レ別賞 1⁹
 ② クリエイティブ・ソリューション・アワード(作品展) 入賞、入選作品 651⁹ を展示
 入選 651⁹

入賞	78%
金賞	17%
銀賞	61%

③ プランニング・ソリューション・アワード

プロモーション・マーケティング大賞	1%
ベスト・プロモーション・プログラム賞	1%
ベスト・プロモーション・クリエイティブ賞	1%
部門賞	6%
準部門賞	8%

④ GPAアワード

企⑥部門 金賞	2%
銀賞	3%
POP広告・ツール部門 金賞	1%
銀賞	3%

2) 本市

10社から13小間が出展

会員	8社	11小間
一般	2社	2小間
合	10社	13小間

3) プロモーション・マーケティング・セミナー

「JPMプランニング・ソリューション・アワード受賞作品」に学ぶことをs 〇に、4座8テーマで2日間にわたり開催。
座合で269名が受。 (s 標:240名)

10月8日(日)

1座

■JPMプランニング・ソリューション・アワード受賞作品の
レビュー

テーマ① FORESTERLIVE～世⑥五大陸、10万キロ。『極の実証』が切り拓いた:富士重工
師 佐 大輝 J (株)読売広告社 吉澤 到 J (株)博報堂

テーマ② A newspaper from 2093 : (株)業経済新聞社

師 森本 平 J、土屋 貴弘 J : (株)電通

2座

■JPMプランニング・ソリューション・アワード受賞作品のレビュー

テーマ③ あそべるヨーグルト グルト! プロモーション: (株)明

師 岩渕 英介 J、川又 大二郎 J : (株)読売広告社

テーマ④ 経営統合10周年企⑥『社長のひと プロジェクト』: 明安田生命保険 互会社

師 小川 素 J (株)博報堂

中嶋 勝 J (株)博報堂プロダクツ

10月9日(木)

3座

■JPMプランニング・ソリューション・アワード受賞作品の
レビュー

テーマ⑤ 「凍らせプッチン!」/グリコ乳業(株)

師 清 充 J (株)アイアンドエス・ビービーディオー

テーマ⑥ I'm your MANAGER!!!/ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)

- 4) 座
 師 柳 佐織 J (株)読売広告社
 ■JPMプランニング・ソリューション・アワード受賞作品のレビュー
 テーマ⑦ 『クルマでダーツ！』アラウンドビューモニター体感キャンペーン／日産自動車(株)
 師 伊藤 奈菜 J (株)TBWA\HAKUHODO
 テーマ⑧ 「柿の種の婚」／亀田 菓(株)
 師 鈴木 智子J 亀田 菓(株) 奥野 麻子 J (株)博報堂

4) 「GPA アワード」基調講演

- 10月8日 テーマ 「プロセス・マネジメントの戦略性」
 (日) 師 (株)博報堂コンサルティング 首藤明敏
 出席者 41名
 10月9日 テーマ 「GPA動の主旨、GPAアワードからのメッセージ」
 (木) 師 GPA推進委員会委員長 田中茂
 出席者 25名

5) 16回「買い場展開ツール」デザインコンペティション

詳細はクリエイティブ委員会の動報告に記載。

6) ガイドブックの発行

クリエイティブ・ソリューション・アワードの入賞作品651名、プランニング・ソリューション・アワード18名の写真、本市出展会社の出展内容を掲載したガイドブックを1,600部発行し、入場者に販売した。
 A4判カラー／72ページ 頒価 2,060円
 広告出 22社

7) 2014・44nd JPM 贈賞式

44回JPMクリエイティブ・ソリューション・アワード、JPMプランニング・ソリューション・アワード、GPAアワード、16回「買い場展開ツール」デザインコンペティションの4部門の贈賞を行う。
 経済産業省から商務情報政策局 文化情報関連産業課課長 佐高淳 子氏が出席し、経済大臣賞が授与された。また今回は、審査員特別賞が授与された。

- 日時 平成26年11月27日(木)
 会場 東京會館 9Fローズルーム
 出席者 272名(広告主56名、会員161名、その他48、メディア7名)

出展委員会 (委員長 脇 重和* / 吉村常任 事・安藤副 事長)

1) 「JPM PROMOTIONAL SOLUTION EXHIBIT 2015」(年鑑)の発行

平成26年に開催された 44回プロモーション・マーケティング協会展における、JPMクリエイティブ・ソリューション・アワードの入賞、入賞作品651名の全作品、および、JPMプランニング・ソリューション・アワードの入賞作品17名、GPAアワードの入賞作品9名、買い場展開ツールデザインコンペティション入賞作品12名を掲載し3月に発行。

A4判、並 アジロ綴+カバーつき 本文 260ページで850冊発行

定価 19,440円(税込)

会員へ無償配布するとともに一般販売を行った。

*委員長が6月より並川恒巳から脇 重和 に交代した。

広報・JPM Network編集委員会 (委員長 山口 廣幸*/吉村常任 事・安藤副 事長)

1) 平成26年度 広報動

以下の広報リリースを、プレス23社にメールにて送信

4月1日:「4月23日開催 GPA 記者会」取材依頼

5月17日:「6月17日開催の定時総会・記念」演 取材依頼

6月25日:「6月17日開催の定時総会・記念」演 報告広報

8月8日:「実態調査結果」広報

8月29日:「平成25年度助成論文」定 広報

9月12日:「JPM協会展 開催」取材・記者会・GPA 基調 演出席依頼 ~「GPAアワード」新設

10月8日/17日:「JPM協会展 開催中」広報/「JPM協会展 開催結果」広報

10月27日:「贈賞式」取材依頼

12月10日~20日:「年頭所感」(松原 事長)送付(6社)

1月20日:「PM試験合格者数」広報

*6月より委員長が小林伸から山口廣幸に交代した。

2) 「JPM Network」の

平成26年度の編集基幹テーマは、「GPA動の推進と透」。プロモーション・マネジメント研 会(11月~3月)においても、「プロセス革新」を座テーマとした。

紙は、コピー:多田亮三 高9DA、J。

平成26年4月	13期PCD養成 座報告 POPサイネージ⑤ 12回「プロモーション・マネジメント研 会」「『仕事を創る人』をつくる」座③」抄録 「GPAアワード」応募開始
5月	「JPM GLOBALSHOP 2014 察ツアー」報告 12回「プロモーション・マネジメント研 会」「『仕事を創る人』をつくる」座④」抄録 新入会員社紹介(3月度入会)
6月	平成25年度研 助成論文 会 抄録 POPサイネージ⑥ 12回「プロモーション・マネジメント研 会」「『仕事を創る人』をつくる」座⑤」抄録 新入会企業紹介(4月・5月度入会) 「プロモーション・マーケティング認証資格試験」受験 受付開始
7月	「買い場展開がよくなる基」座抄録 「GR アワード」応募中 「プロモーション・マーケティング認証資格試験」受付中告 「JPM 協会展」出品・応募促進広告
8月	45回定時総会(運営基本方針) 45回定時総会 記念 演 野田 稔 12回「JPMプランニング・ソリューション・アワード」定 クリエイティブ体験学習会 報告
9月	37回プロモーション業 実態調査 17回広告主実態調査から「売上と実施」 「早わかり」座抄録(プロモーション・マーケティング資格がきるとき) 「JPM マネジメント定例会」抄録~田原屋・田原績 「JPM 協会展開催」来場促進広告
10月	37回プロモーション業 実態調査 17回広告主実態調査から「期待と満足度」

	「GPA アワード」が加わり、「JPM 協会展」10月8日から開催 PM 認証資格試験、受験申込迫る PMセミナー「店頭誘因と購買動促進」、開われる 「GPA 主査認証式」開催
11月	44回 日本プロモーション・マーケティング協会展 開催！ ～「GPA アワード」が加わり、新協会展に JPM セミナー2014 開催／「プロセス革新」座、いよいよ11月から開催
12月	「GR 主査認証式」開われる 10回プロモーション・マーケター認証資格試験、実施される サイネージ③戦いの場に開のカギ JPMマネジメント定例会抄録（スピーチ：パルディア・中敦） 「認定職業 練功労者」3に感謝。が贈呈
平成25年1月	年頭のご挨拶（松原靖広 社長） / 事の方々からの「新年の抱負」 会員社からの名刺広告 2014 JPM 贈賞式開催 新シリーズ・ハテナの そのとき、コピーは…① 2015年 JPM からメッセージ

プロダクツ委員会（委員長 小田島 隆太／草賀常任 事・安藤副 事長）

35期「買い場」展開がよくわかる基 座（認定職業 練JPMビジネススクール）への協力

クリエイティブ委員会（委員長 吉村 寛子＊／草賀常任 事・安藤副 事長）

1) クリエイティブ会員体験学習会の開催

日時 平成26年6月11日（日）
テーマ 宙吹きガラス制作体験
（山梨 勝 市「勝 ガラス工房 がらす屋」）
参加者 5社から10名が参加

2) 16回「買い場展開ツール」デザインコンペティションの開催

応募受付期間 平成26年7月25日（木）～8月23日（金）
応募数 学生の部は4校から55、一般の部は5社・団体及び個人から6 の、61 （前年92）
審査会 平成26年10月8日（日）
展示会 平成26年10月9日（日）～11（金）東京都 産業貿易センター（松 館）
贈賞式 平成26年11月25日（月）東京會館
金賞1 （学生1、一般1）、銀賞2 （学生1、一般1）、銅賞2 （学生1、一般1）、佳作5 （学生4、一般1）

3) 平成26年クリエイティブ・セミナーの開催

テーマ 「POPデザインに役立つ造形パワーの基本」
講師 久保田 秀明 （株）凸印刷
日時 平成26年7月17日（木）
会場 日本印刷会館 2F会 室

参加者 16社から55名 (前年29社33名)

4) 平成26年クリエイティブ会員勉強会

日時 平成26年2月25日(日)

場所 日本印刷会館 2F会議室

テーマ 「2014年 44回日本プロモーション・マーケティング協会展 JPMクリエイティブ・ソリューション・アワード出品作品の解説」

① 経済産業大臣賞 パナソニック「シーリングスピーカー体験自働什器 ドラム実演展示台」

② トイレタリー部門金賞 エステ「かおりムシューダ香り」本

③ アルコール飲料・たばこ部門 サントリー「ザ・プレミアムモルツ サーバーカバー」

④ 化粧品部門金賞 資生堂「ベネフィークモジュール什器」

⑤ 家庭用品・一般電器部門銀賞 大塚アンドアソシエイツ「coresゴールドフィルターディスプレイ」

参加者 61名 (前年74名)

* 6月より委員長が木全時彦から吉村寛子に交代した。

プロモーション・ビジネス研究委員会 (委員長 近野 慎一* / 田常任 理事・新井副 理事長)

1) 12回JPMプランニング・ソリューション・アワードの実施

応募受付期間 平成26年2月24日(月)～3月28日(金)

応募作品の対峙期間 平成25年1月1日～平成25年12月31日の間に実施されたプロモーション企画

応募総数 19社 629 (前年16社699)

審査結果 ●プロモーション・マーケティング大賞

「経営統合10周年企画社長のプロジェクト」: 明安田生命保険 五会社 (株)博報堂、(株)博報堂プロダクツ

●ベスト・プロモーション・プログラム賞

「柿の種の婚」/ 亀田 葉(株) / (株)博報堂、(株)東北新社

●ベスト・プロモーション・クリエイティブ賞

「ペンギンが客を連れてくる 世初ペンギンナビ」: (株)サンシャインシティ (株)博報堂、(株)博報堂プロダクツ

各部門で部門賞69、準部門賞89を選出 (ページ受賞作品一参考)

2) プロモーション領域の世初なコンテストThe GLOBE Awardsへの選出と受賞

12回JPMプランニング・ソリューション・アワード(プランニング賞)受賞企画の中から The GLOBE Awardsへ99が応募。以下の4作品が入賞。

< 消費者向けサービス 観光・旅、レジャー・ゲーム、リクリエーション、メディア部門 金賞 >

「ペンギンが客を連れてくる 世初ペンギンナビ」: (株)サンシャインシティ
出品会社: (株)博報堂、(株)博報堂プロダクツ

< 消費者向け商品 ヘルスケア、美容、ファッション部門 銀賞 >

「日本のおなかを守るため!“露丸トイレ”参上」: 大幸 葉(株)
出品会社: (株)大広

< 消費者向け耐久財 自動車、電器器具、ホームエレクトロニクス部門 銅賞 >

「クルマでダーツ！」アラウンドビューモニター体験キャンペーン: 日産自動車(株)

出品会社: (株)TBWA\HAKUHODO

<ノンアルコール飲料部門 銅賞>

「I'm your MANAGER!!!」:ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)

出品会社: (株)読売広告社

3) MCEIが主催する国際企画コンテストへの選出と受賞

MCEIが主催する国際企画コンテスト「International Marketing Excellence Award 2014」へ2点が応募。第12回のJPMプランニング・ソリューション・アワード(プランニング賞)入賞の作品が、最高賞の金賞を獲得。

第12回 JPM プランニング・ソリューション・アワード 受賞作品一覧

受賞名	プロモーション名	広告主名	出品会社名
プロモーション・マーケティング大賞	経営統合10周年企画「社長のひと筆 プロジェクト」	明治安田生命保険相互会社	株式会社 博報堂 株式会社 博報堂プロダクツ
ベスト・プロモーション・プログラム賞	「柿の種の婚活」	亀田製菓株式会社	株式会社 博報堂 株式会社 東北新社
ベスト・プロモーション・クリエイティブ賞	ペンギンが客をつれてくる 世界初「ペンギンナビ」	株式会社 サンシャインシティ	株式会社 博報堂 株式会社 博報堂プロダクツ
統合型プロモーション企画	部門賞	FORESTERLIVE ~世界五大陸、10万キロ。「究極の実証」が切り拓いたSUV No.1への道~	富士重工業株式会社
	準部門賞	「クルマでダーツ！」アラウンドビューモニター体感キャンペーン	日産自動車株式会社
	準部門賞	午後の紅茶 おいしい無糖「おにぎり公式飲料」キャンペーン	キリンビバレッジ株式会社
ブランディング・プロモーション企画	部門賞	ファンタ「遊ぶ日」キャンペーン	日本コカ・コーラ株式会社
	準部門賞	日本のおなかを守るため！「正露丸トイレ」参上！	大幸薬品株式会社
新規顧客獲得企画	部門賞	あそべるヨーグルト グルト！ プロモーション	株式会社 明治
	準部門賞	おふるウキウキ研究会	パナソニック株式会社
既存顧客維持企画	部門賞	凍らせブッチン！	グリコ乳業株式会社
	準部門賞	カワイイを携帯しよう！~チュッパホルダー大作戦~	森永製菓株式会社
事業所向け企画	部門賞	該当作品なし	
	準部門賞	該当作品なし	
インスタ・プロモーション企画	部門賞	該当作品なし	
	準部門賞	『7つの習慣 完訳版』プロモーション	フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社
インナー・プロモーション企画	部門賞	該当作品なし	
	準部門賞	たまひよ創刊20周年「赤ちゃんがふえる しあわせがふえる」キャンペーン	株式会社 ベネッセコーポレーション
デジタル・プロモーション企画	部門賞	I'm your MANAGER!!!	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
	準部門賞	ロッテカフカ「泣きやみ動画」	株式会社 ロッテ
社会貢献プロモーション企画	部門賞	該当作品なし	
	準部門賞	該当作品なし	
低予算プロモーション企画	部門賞	A newspaper from 2093	株式会社 産業経済新聞社
	準部門賞	該当作品なし	

4) 第13回 プロモーション・マネジメント研究会の開催

マネジメント層を対象に「購買行動の変化に、いかに対応するか？購買の最終決定を生む『プロセス革新』」講座として、5回にわたって開催した。

申し込み:15社20名(登録30人)

日程	領域	テーマ	講師
<1> 11月7日(水)	戦略設計 ④階	効果性を高めるプロモーションを設計する条件	I&S BBDO コーポレートセンター プロキュアメントグループ マネジャー 小田島 薫J
		社会価値をプロモーションの戦略にするの恵	電通 プロモーションデザイン局 プロモーションデザイン部 部長 井上政幸J
		新たな販売機会を創る、ビジネスモデル着想力	博報堂 アクティベーション企画局クリエイティブ部 奥野麻子J
<2> 12月3日(月)	実務 ⑥階	購買の動向づけをシナリオ化するとは	博報堂 動向デザイン研究所 所長 国田圭作J
<3> 1月9日(金)	実務 ⑥階	購買を動向づける社会価値の恵とは	モメンタムジャパン 田中 茂J
	- 作・実施管理 ④階	プロダクトマネジメントの最新	電通テック 業務管理センター長 堀越守J レグス 生産品質管理部 古市 康弘J 生産品質管理グループ品質保証・購買チーム 関澤義徳J
<4> 2月9日(月)	- 作・実施管理 ④階	キャンペーン事務局運営のキーポイント	パルディア 大川祐介J
		店頭フィールド運営管理の実際	電通リテールマーケティング 代表取締役社長 近藤慎一J 大塚 葉 ニュートラシューティカルズ事業部 松尾哲也J
<5> 3月6日(金)	プロセス・マネジメントの課題	スマートショッパー時代におけるメーカーの取り組み課題	早稲田大学 商学部教授 守口剛J

*6月より委員長が北川から近野慎一に交代した。

サイン委員会 (委員長 落合 功 / 草賀常任理事・安藤副委員長)

- 1) JPMNetworkでの記事展開 2013年度より6回シリーズの最終2回分として、4月号、6月号に、「売り場の新たな動向づけツール ④ サイネージ」を掲載。
4月号 「売り場展開における効果把握に関するガイドライン」
6月号 「制作費回収に関するガイドライン」
- 2) 上記6回シリーズを④ サイネージのビジネス化仮説として、協会としてのサービス化を検討する委員会を定期的に開催した。

プロモーション・マーケター認証資格委員会 (委員長 富田 義弘 / 齊藤常任理事・安藤副委員長)

当 10期までの累計受験数が8,056人となり、有資格者数は4,841人に至った。また、非協会会員社の受験率が69.8%となり、業種全体の資格へとして「実」の力が広がっている。

- 1) 10期プロモーション・マーケター認証資格試験を実施。
受験者数は757名のうち合格者は447名。合格者累計は4,841名。(前年累計 4,394名)
試験日 平成26年11月2日(日)

試験会場 東京／東京女子大学、大阪／関 大学、名古屋／学校、名古屋大原学園

受験者プロフィール	業種別会社割合(153社)	年齢別割合(757名)
	広告主 24.8%	20代 43.9%
	広告会社系 6.5%	30代 37.3%
	広告制作会社系 10.5%	40代 17.3%
	B・マーケティング系 31.4%	50代以上 1.6%
	印刷会社系 24.8%	
	ディスプレイ会社 1.3%	
	その他 0.7%	

試験に先、ち前受験対、座を開、した。延べ5日。受、者数 368名。

座日 9月13日(土)、9月20日(土)、9月27日(土)、10月12日(日)、10月19日(日)

会場 日本印刷会館2F会。室

2) 認証資格更新

本年は、5回、の更新受付を、った。

更新、(平成26年・5回、) 55.3% 287/519名 (前年49.8% 337/676名)

更新、が60%に満たず、今後更新、を向上するための施、が、められる。

3) PMF (Promotional Marketers Forum) メールマガジンの、(、信)

プロモーション・マーケター・フォーラム(PMF)会員に対して、平成23年7月より隔月15日にメールマガジンの配信を継続。

読者 PMF会員2,488人(2,015年1月15日号の、階)。年齢は20代後半～30代が中心。

「PM資格」を、場でかしていくために、「PMのプロ」を、指している人たちへのアドバイス。業、
、情報提供による会員間を結ぶコミュニケーションマガジン。

4) プロモーション・マーケターズ・フォーラム・セミナーの開催

日時 平成26年8月6日(、) 15:00～17:50

会場 日本印刷会館 2F会。室

受、者 出席者数 41名、申込者数 66名(、標:50名)

セミナー① 師 梅、 充幸」 / (株) ジェイアール東日本企、

テーマ 「合間時間シチュエーションに着、した購買、動プロセス研、一購買起、アンケ、
ートデータを中心とした分析」

セミナー② 師 阿部 憲政」 / (株) 博報堂プロダクツ

テーマ 「ラポールテクニックによる購買、の、生タイミングの考察」

—グループディスカッション:実務での用のしかたなどについてフリーディスカッションを、った—

セミナー③ 師 中村 博」 / 中央大学ビジネススクール教授

テーマ 「Big Dataを用いたショッパーマーケティング戦略
～ネット時代の効果、なプロモーション戦略」

日本プロモーション・マーケティング学会 (委員長 川 勉/齊藤 一常任 事・安藤 副 会長)

より実質的に研究の共同推進を実現する、研究論文の部を「学術研」と「実務研」の2部門で運用した。
 なお、協賛社は標が25社であったが、前年より1社減少し、19社の協賛となった。

1) 「平成26年度研究論文・研究レポート」助成

応募18社の中から以下、14社に助成決定。

①研究論文(実証研究、事例研究、論研究)

学術研 9社 実業研 3社

②研究レポート(学士論文相当、実証研究)

大学学部生 2社

2) 平成26年度研究助成論文研究会・6回学会総会の開催

日時 平成27年3月24日(水)

場所 日本印刷会館 会議室 2F会議室

内容 学会総会

研究会

研究交際会

3) プロモーション研究推進委員会動「研究助成」事業

実務に役立つ研究に取り組むため当委員会(学会役員6名、実業員3名)を設置し、研究協同での動方針の決定、助成研究、査読付き論文の評価・選定をなすについて定めた。

①研究論文は、学術研(実務に示唆を与える研究)と実務研(実業のニーズによりプロモーションのメディアミックスに関する研究)の2種類に分けてなった。新たに「社会に価値あるプロモーション研究」の募集をなした。

②査読付き論文の評価と指導は、プロモーション研究推進委員会の学術員と実業員のレフリーが共同でなした。

4) プロモーション研究推進委員会と学会役員会での「学会のさらなる活性化」検討

研究助成動の充実とレベルアップに加えて、より協賛会社と協会員に役立つ学会のための学会動性化のための課題を出しと施策を検討し、27年度の推進体制を整備した。

5) 通経済研究所、MCEIとの連携

(財)通経済研究所の「『Eコマース・ナビ通信大会2014』[2015年2月4日(水)～6日(金)に実施]の後援。

MCEIとは、日本プロモーション・マーケティング協会を通じて、連携の強化をはかった。

6) 学会員の構成(平成 27年3月10日現在)

学会員 A	学術員の研究者	22名
学会員 B	実業員の研究者	5名
学会員 C	プロモーション・マーケター資格の取得者	180名
学生会員	学生の研究者	16名
	小計	223名
学会員 D	個人協賛会社 19社×5名	95名
	合計	318名

グッドウイール・プロモーション・アライアンス推進委員会 (委員長 田中 茂 / 田常任 事・新井副 事長)

プロモーション業の「健全なプロモーション」の普及を目的に、会員社が「効果性・社会価値性・遵 性」の 3 つを持って、企 業から実施に至る業務プロセスを革新することの重 要性を 認 識 し、取り組みを推進する動きをスタートした。会員社が自社の業務プロセス・マネジメント力を向上させるために「GPA 主査」の設定促進と、一回 GPA アワードの顕彰を主な動とした。

(当期具体動)

1. GPA 主査 習会の実施(14 年 3 月)
2. GPA アワード2部門(企 業、POP 広告・ツール)の応募促進、審査、協会展での入賞業務展示
3. GPA 主査認証式の実施
4. GPA 主査認証書、名刺の 送 付 と全主査への授与

(成果)

GPA 主査数 61 名 59 社
GPA アワード応募数 企 業部門:19 社 11 社 POP 広告・ツール部門:14 社 9 社
GPA 主査認証式出席数 19 名 18 社

関 連 部 会 (委員長 辻本 良雄 / 斎藤潤一 常任 事・高副 事長)

1) 研 究 会 の 開 催

① デザインに役 立 つ「造形パワーの基本」—人は何に感応するのか?

一 部 テーマ 「デザインの基本と、色彩の意味するもの」

二 部 テーマ 「 創 造 する形、感情の動きと ① デザイン」

主 持 人 久保田 秀明 (株) 凸 版 印刷(株) SP本部シニアクリエイティブディレクター

日 時 平成25年9月10日(日)

会 場 大阪国際交センター 小ホール

入場者数 23社69名(会員15社55名・非会員8社14名)

② JPMクリエイティブ・デザインショー / 14回入賞作品「スライド」による大阪展

主 持 人 久保田 秀明 (株) 凸 版 印刷(株) SP本部シニアクリエイティブディレクター

日 時 平成26年12月9日(日)

会 場 大阪国際交センター さくら東

入場者数 34社169名(会員21社134名、非会員13社35名)

③ 13回電通・博報堂W 演 2015年度 経 費 動 向 トレンド予測

一 部 テーマ 経 費 動 向 2015
「進め、自分。～後戻りしたくない 経 費 者～」

主 持 人 松本 明 (株) 電 通

ビジネス・クリエイション・センター電通総研主任研 究 員

二 部 テーマ 「Big Presentation 2015」
デュアル・マス ～2つの大 衆 が共存する時代へ～

主 持 人 吉川 昌孝 (株) 博 報 堂

生総合研 究 所 主席研 究 員

日 時 平成26年2月18日(日)

会 場 大阪国際交センター 小ホール

入場者数 21社69名(会員19社67名、非会員2社2名)

2) 部会情報紙「関 かわらえ」の発行

上記研究会の演レポートと号外の、5回発行。

中部部会 (委員長 検 中 / 斎藤潤一 常任 事・高副 事長)

協会動の再開に向け、体制作り 準備をすすめている。